

みずほCustomer Desk Report 2022/03/28 号 (As of 2022/03/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	122.04
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	122.35	1.1009	134.59	1.3194	0.7510
SYD-NY High	122.44	1.1037	134.72	1.3223	0.7537
SYD-NY Low	121.18	1.0981	133.76	1.3160	0.7495
NY 5:00 PM	122.10	1.0982	134.20	1.3183	0.7514

NY DOW	34,861.24	153.30	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	14,169.30	▲ 22.54	日本10年債	0.2400	1.00bp
S&P	4,543.06	22.90	米国2年債	2.2822	14.87bp
日経平均	28,149.84	39.45	米国5年債	2.5595	16.27bp
TOPIX	1,981.47	▲ 0.09	米国10年債	2.4870	11.89bp
シカゴ日経先物	28,095.00	▲ 50.00	独10年債	0.5675	4.35bp
ロンドンFT	7,483.35	15.97	英10年債	1.6965	5.20bp
DAX	14,305.76	31.97	豪10年債	2.7730	5.10bp
ハンセン指数	21,404.88	▲ 541.07	USDJPY 1M Vol	8.39	▲0.59%
上海総合	3,212.24	▲ 38.02	USDJPY 3M Vol	8.24	▲0.41%
NY金	1,954.20	▲ 8.00	USDJPY 6M Vol	8.18	▲0.27%
WTI	113.90	1.56	USDJPY 1M 25RR	0.10	Yen Put Over
CRB指数	307.335	2.48	EURJPY 3M Vol	9.83	▲0.32%
ドルインデックス	98.79	0.00	EURJPY 6M Vol	9.73	▲0.18%

東京	東京時間のドル円は122.35レベルでオープン。米金利の騰勢に一服感が見られる中、ドル円はじり安の展開。実需の売りもあり、122円台を割り込むと121.18まで下落。一巡後は、特段材料ない中、反発し121.86レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は121.86レベルでオープンし、目新しい材料に欠けるなか、方向感なく推移した。ロンドン時間の値幅は約50銭となり、121.66レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	121.66レベルでNYオープン。朝方は4月に緊急利上げの噂が広まっているとの話に122.25まで上昇するが、根拠や出所が不明であったことや、米株式市場が軟化する動きにクロス円の売りが強まり、121.78まで下落する。午後は米金利が高止まりする中、ドル円はじり高で推移し、122.10でクロスした。一方、ユーロドルは1.1018レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受け1.0993まで下落する。その後1.1025まで戻すものの、米金利が高止まりする中ユーロドルは上値を切り下げ1.0981まで反落する。午後は週末を控え方向感の無い推移が続く、1.0982レベルでクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月25日	08:30	日 東京CPI	3月 1.3%	1.2%
	08:30	日 東京コアCPI	3月 0.8%	0.7%
	08:30	日 東京コアコアCPI	3月 -0.4%	-0.5%
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	2月 -0.7%/4.6%	0.5%/5.6%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	2月 -4.1%	1.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 59.4	59.7

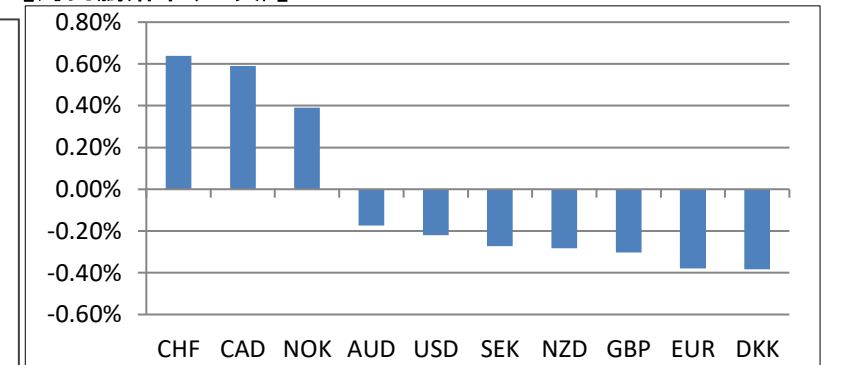
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月28日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	2月 1.2%	1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	121.50-123.00	1.096-1.102	133.50-135.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間は朝から日銀黒田総裁が衆議院財務金融委員会に出席するとのヘッドラインや、週末を控えたポジション調整で円買いとなり、一時121.18まで下落した。その後は反発し121円後半まで戻して海外へと渡った。海外時間は材料不足の中、121円後半でのレンジ推移となるも、その後は米金利の高止まりを背景に122円台に戻しそのレベルでクローズ。

本日のドル円も堅調な推移を予想する。引き続き日米金融政策の違いによる金利差からドル円の上昇圧力は継続すると思われる。本日の注目は東京時間10時頃、日銀による指値オペ実施の有無である。仮に、実施すれば日本の金融緩和維持を明確にすることになり、一段の円安推移を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・松木